

RCチェックエラー対処 拾い入力エラー

計算処理にて拾い入りにチェックエラーがある場合は、下記手順にて対処します。

1. 入力エラーの確認メッセージを「はい」ボタンをクリックします。



2. エラーリスト画面を表示して、エラーの内容を確認します。

区分	SEQ	レベル	項目名	対処
梁リスト	25	W	主筋の径	鉄筋を計測するときは主筋の入力は必須
梁リスト	26	W	主筋の径	鉄筋を計測するときは主筋の入力は必須
梁拾い(伏図)	120	E	右端h	端部タイプが"0"の時は必ず入力
梁拾い(伏図)	120	E	左端h	端部タイプが"0"の時は必ず入力
壁拾い(伏図)	12	W	接続左記号	鉄骨と接続されています
壁拾い(伏図)	30	W	接続左記号	鉄骨と接続されています
壁拾い(伏図)	32	W	接続左記号	鉄骨と接続されています
壁拾い(伏図)	154	W	接続下記号	鉄骨と接続されています
壁拾い(伏図)	162	W	接続下記号	鉄骨と接続されています
壁拾い(伏図)	188	W	接続下記号	鉄骨と接続されています

レベルを確認します。

E … 入力エラーのため、修正が必要です。

W … 警告です。項目・対処を確認します。修正しなくても計算、集計されます。

レベルが E の項目のみでフィルタを掛けることができます。

区分	SEQ	レベル	項目名	対処
梁リスト	25	W	(すべて)	鉄筋を計測するときは主筋の入力は必須
梁リスト	26	W	(カスタム)	鉄筋を計測するときは主筋の入力は必須
梁拾い(伏図)	120	E	(空白)	端部タイプが"0"の時は必ず入力
梁拾い(伏図)	120	E	(空白以外)	端部タイプが"0"の時は必ず入力
壁拾い(伏図)	12	W	E	鉄骨と接続されています
壁拾い(伏図)	30	W	W	鉄骨と接続されています
壁拾い(伏図)	32	W	接続左記号	鉄骨と接続されています
壁拾い(伏図)	154	W	接続下記号	鉄骨と接続されています
壁拾い(伏図)	162	W	接続下記号	鉄骨と接続されています
壁拾い(伏図)	188	W	接続下記号	鉄骨と接続されています

3. エラー項目を修正します。

エラーリストのエラー行をダブルクリックして、入力エラーがある画面を開きます。

区分	SEQ	レベル	項目名	対処
梁拾い(伏図)	120	E	右端h	端部タイプが“C”の時は必ず入力
梁拾い(伏図)	120	E	左端h	端部タイプが“C”の時は必ず入力

エラーリストの梁拾いをダブルクリックして、梁拾い画面を開きます。
エラー項目はこの画面で修正せず、ID番号を控えておきます。

通り情報		集計		代表寸法		代表床接続				代表端部接続寸法								X/E	SEQ	
部体	階	通り名	左端部寸法	右端部寸法	スラブ	礎版		左端部				右端部								
S	E		寸法	寸法	取合	記号	厚	取合	記号	厚	H	I	J	K	H	I	J	K		
44	3	Y3 X1-X5	4500	500																120
45	3	Y4 X1-X4	4500	500																125
46	3	X1 Y3-Y4	5000	500																129
47	3	X2 Y3-Y4	5000	500																131
48	3	X3 Y1-Y4	5000	450																133
49	3	X4 Y1-Y4	5000	450																137
50	3	X5 Y1-Y3	5000	450																141
51	3	X3-	2500	350																144
52	3	X3-X4	6000	350																146
53	3	X2-X3	6000	350																148
54	3	Y2-Y4	5000	350																150

拾い情報		接続柱梁増打		ジョイント巾	ハーフPC用接続スラブ				PC接続柱梁記号				高所型枠				スラブ用増打厚				集計	ID	SEQ
部体	部位	取中	厚		左	右	左	右	左	右	左	右	側面	底面	上	下	左	右					
1	2	1	2	1	2	記号	厚	記号	厚	記号	厚	長さ	厚さ	長さ	厚さ	長さ	厚さ						
1	G	S																170	121				
2	G	1																173	122				
3	G	2																155	123				
4	G	2																158	124				
5																							

伏図編集画面を開き、**オプション - ID検索** をクリックします。

FKSシステム サンプル新築工事

ファイル 通り芯 表示 部位配置 部材編集 **オプション**

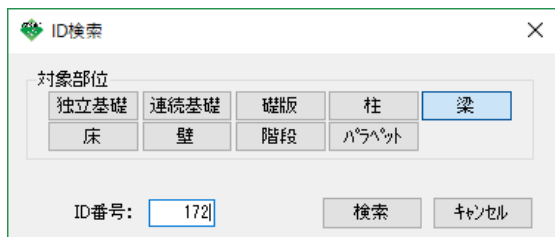
断面リストロード 全計算 部位交点補正 部位芯補正 IFC出力 Enterキー設定 距離/面積計測 軸組床対象外 不正要素検索 **ID検索**

計算 IFC 設定 計測 検索

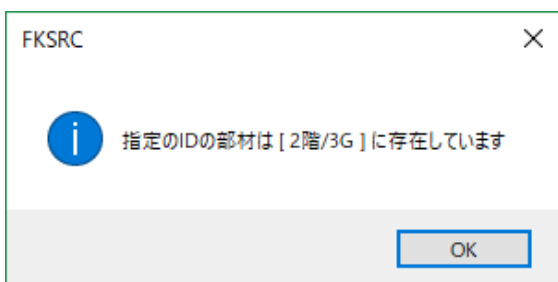
図面保存 通り芯 環境設定 全表示 拡大 部位表示 増打表示 表示 間隙 平行 2点 円弧 垂線 交点 延長 縮小 結合 一括 分割

階切替 伏図計算 断面 軸組 3D 70単独 70領域 包絡 回転 面セト 北 緯削除 交点削除 部位削除 土工等

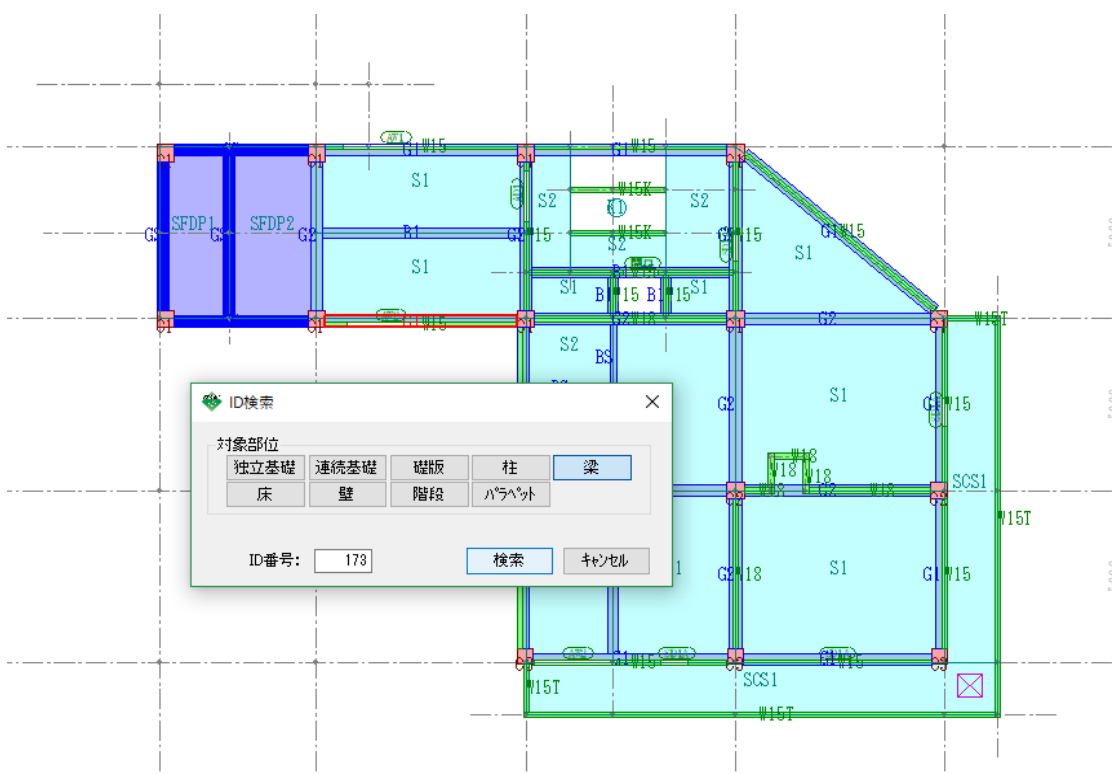
部位を選択し、控えておいたID番号を入力して検索ボタンをクリックします。



対象の部材が表示階以外にある場合は、下記のメッセージが表示されますので階切替にて階を移動し、もう一度ID検索を実行します。



検索対象の梁がある場合は、赤色で表示されます。



対象の梁のプロパティを開きます。
 エラー対処にある端部タイプを確認すると、端部タイプが C:水平ハンチ になっているが
 水平ハンチのハンチ巾が未入力のため入力します。

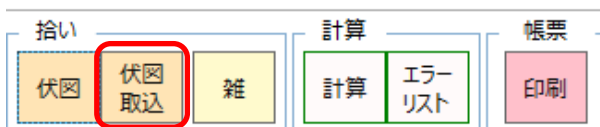
4. エラー項目を修正したら、伏図計算を実行し伏図編集画面を保存して閉じます。

ツールバーの伏図計算をクリックします。



5. 伏図画面を閉じたら、伏図取込を実行します。

ツールバーの伏図取込をクリックします。

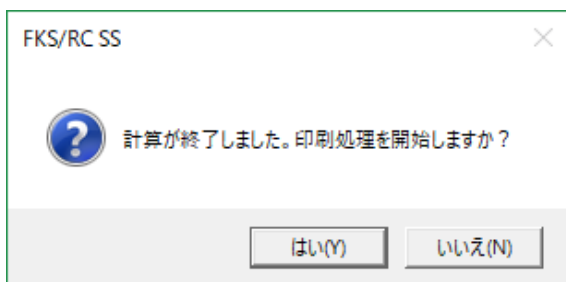


6. 計算処理をもう一度実行します。

ツールバーの計算をクリックします。



計算終了のメッセージが表示されたら終了です。



以上で終了です。

上記手順にて解決できない場合には、弊社窓口までお問合せ下さい。